

令和3年度 日置市教育委員会定例会(9月)

○日時：令和3年9月21日(火) 午後7時30分～午後8時35分

○場所：日置市中央公民館 研修室2、3(3階)

○出席者：奥教育長

委員：内村委員・中島委員・胸元委員・鶴木委員

事務局：梅北(事務局長兼教育総務課長)・渦尾(学校教育課長)

横枕(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)

坂上(日吉支所教育振興課長)・松岡(吹上支所教育振興課長)

東(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長：それでは日置市教育委員会9月の定例会を始めたいと思います。

2 前回議事録の承認

奥教育長：前は書面開催ということでしたので、今日は議事録の承認は省きたいと思います。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長：続きまして委員及び教育長の報告です。前回の定例会が書面開催でしたので、もしございましたら7月の定例会以降の分でご報告をいただいても結構です。よろしくお願いいたします。では中島委員からお願いしてよろしいですか。

中島委員：はい。それではご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が発令されたこともございまして、各行事等が中止していく現状下でありました。予定されておりました9月3日の鹿児島教育事務所との鶴丸小、美山小の合同学校訪問、7日の市教委花田小学校訪問、10日の日吉学園の学校訪問は延期という報告を受けました。また、9月12日に上市来小中合同の体育大会、東市来中の体育大会の方も雨天により翌日に順延ということでしたが、仕事の都合で欠席させていただきました。また、7月の分は東市来中学校の学校訪問等がございましたが、資料が手元にございませんで後日報告

させていただきます。

8月2日に市町村教育委員会委員の研修がございました。その中の後半の全体会議の中で、鹿屋市の子どもサミットの話が出ました。その内容にとっても興味を持ちまして、会の後に担当の方に内容をお伺いして、また自分達でも調べたところ、何回か鹿屋市の方で子どもサミットが行われていました。8月11日付けの南日本新聞の記事にも「いじめ撲滅を考える」ということで、小中高の児童生徒、教員の先生方を180名集めていじめを無くす方法について考えたという記事がございました。その文面に目を通しますと、鹿屋女子高校の演劇部の生徒さん達がいじめをテーマにした演劇を行い、それを見た後に、嫌だった行為やいじめをどのように解決したらいいかということについて先生を含めて分科会で話をしたという記事になっていました。昨今は、子ども達のいじめは内容自体も以前と違って様変わりしていると考えられます。心の大きな傷の話をし、共感できる場所がないということもありますので、日置市でも是非このような活動が開催されればと思いました。特に、GIGAスクール構想でICT教育が拡大している中で、タブレット内のチャット機能を使ったいじめがあり、東京の方で小学校6年生の児童が自殺という記事も出ました。良い部分もありますが、逆に防止すべき部分をハード面、ソフト面で考えないといけないとその記事を見て思いました。以上です。

奥教育長：はい、ありがとうございます。それでは鵜木委員お願いいたします。

鵜木委員：はい。学校が夏休みに入りましたので、子ども達のラジオ体操の様子を見ながら妙円寺団地内で3回程参加させていただきました。また中島委員からもありましたが、8月2日に市町村教育委員会委員研修会が県庁で開催されましたので、これにも出席させていただきました。8月24日に教育講演会がオンラインで開催されましたので、これにも参加させていただきました。

9月に入りまして13日、雨天順延されていましたが伊集院中学校と伊集院北中学校の体育大会を参観させていただきました。曇り空で吹く風が気持ちよく、絶好の運動日和の下で、いずれの中学校でも熱戦が繰り広げられました。コロナの影響で昨年度に引き続き午前中の開催となりましたが、伊集院中学校では3年生の保護者

のみ各家庭1人だけが校舎の2階からの参観を許可され、各家庭へは昨年度と同様オンラインによる映像配信を行う中で開催されました。生徒から募集した「仲間として、ライバルとして」のローガンの下で、コロナに負けない盛り上がり期待される大会の開会式への参加から、選手種目の男女の100m走、男子の1500m走、女子の800m走と3年生の学級対抗全員リレーまでを参観しました。選手種目では、それぞれの選手が代表としてのプライドを持って全力で競技する姿が心に響きました。その中で、3年生女子の100m走で、27年ぶりにこれまでの記録を0.1秒更新する大会新記録が誕生しました。

伊集院中学校での参観はおよそ1時間30分でしたが、その後伊集院北中学校へ移動して、各学年の学級対抗全員リレー、長縄跳び、応援合戦、色別対抗リレーを参観し、その後の閉会式まで参加させて頂きました。伊集院北中学校は3年生が2クラスしかなく、1、2年生が3クラスあるため、3クラスある1、2年生のそれぞれ1クラスを青組と紅組に分けるといふ変則の団編制で競技に臨んでいました。学級対抗全員リレーでは、足の速い遅いに関わらず一人一人が学級の名誉をかけて全力で走る姿が印象に残りました。また、10人1組で行う長縄跳びでは、縄を回す生徒の息の合った巧みな技術が記録に影響して、62回を跳んだ3年生のチームが優勝しました。

コロナの影響があるとはいえ、2年連続の午前中のみ開催や保護者の入場制限がある中で、現在の2年生にとっては2年連続で短縮開催となり、学年種目や選手種目以外の生徒による徒競走や部活動紹介など、これまで体育大会で行われてきた種目を経験できなかつたり、昼食を家族揃ってとることができなかつたりする状況であったことから、来年度はコロナを克服して、思い出に残る正規の体育大会が行われ、それを経験してほしいと願うところでした。以上でございます。

奥教育長：はい、ありがとうございました。胸元委員お願いいたします。

胸元委員：報告させていただきます。

8月24日、令和3年度日置市教育研究会講演会に参加いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、Zoomによるオンラインでの実施となりました。しかし、接続を確認した

ものの開会25分を過ぎてからの参加となってしまいました。オンライン実施の経験の乏しさにより講演の一部を視聴できませんでした。視聴できた講演の中で有倉教授は、「配慮が必要な児童生徒はどんなことに対して折り合いがつかっていないのか」、先生や学校に対する問いかけに目を向けることの必要性を話され、「適応に向けた支援の視点を持つこと」、「黒板まわりの掲示物を精選し教室の横や後ろに掲示する」、「教師用の机の上を整理する」などの情報量の調整や学習道具の置き場所や整理の仕方を構造化することなど学習環境づくりの例を挙げておられました。学校訪問の際には講演内容を踏まえて参観したいと思いました。

9月12日日曜日は、吹上中学校第44回体育祭でしたが、天候不良のため翌日13日月曜日に順延となりました。当日は、前日の大雨によりぬかるみが多く、早朝より先生方が、生徒も登校後全員で砂を運んだりトンボでならしたり、消えた白線を引き直し、トラック1台半分の砂を使いグラウンドコンディションを整え、開会式は8時35分予定が8時55分となりました。時間の関係上、部活動紹介がなくなりましたが、各競技生徒は集中して取り組んでおり、競技後の退出まできびきびと行動する姿を見て、先生方の指導と生徒一人一人の体育祭に対する姿勢を感じることができました。今年は、毎年行われていた夏休みから始まる応援団練習がなくなりエール交換のみとし、3年生徒対3年生保護者による対抗綱引きがなくなるなど、コロナウイルス感染症拡大防止に努めた体育祭となりました。これからも学校行事は続きますが、感染対策を取り入れながら取り組んでほしいと思います。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。内村委員。

内村委員：はい。7月26日、長島町町長以下、副町長、教育長、教育委員会関係者など全員で13名が、今後の長島町の義務教育学校について検討課題とすべく1歩として、義務教育学校日吉学園に視察に見えられ、日置市は市長以下、教育長、教育委員と貴重な意見交換や校内見学をされました。

長島町からは、5つの小学校が1つになったメリット・デメリットについて、スクールバスの運営方法、制服、校歌、校章について、閉校後の跡地活用について、特色ある義務教育学校について等、真摯な質問が多くあり、日置市教育委員会、日吉学園より、日

吉学園開校までの経緯を説明し、また質問については紙面や口頭で回答がなされ、長島町の皆さんにご理解頂き、意見交換後、校内見学をされました。ちょうど夏休み期間中で生徒はほとんどいませんでしたが、その中で吹奏楽部が大会が近いということでわずか11人と少ないメンバーですが、顧問の指揮者と生徒一人一人が真剣勝負での演奏態度に、見学者の皆さんの耳や目が釘付けになりました。生徒一人一人が高い目標を持って、一糸乱れぬ演奏風景は、今後の日吉学園の団結と更なる発展に繋がるものと思いました。なお、9月4日に3年生のお別れコンサートを福祉センターで開催予定でしたが、コロナ感染防止のため、体育館での開催になりました。

8月2日の市町村教育委員会委員研修会については、3名の委員の先生方から報告がありましたが、東條教育長の挨拶がありまして、以下の3点の課題について話されました。

まず1点目は、「いじめのない安心安全な教育環境づくりが、児童生徒の自己現実に繋がるので、いじめを積極的に認知し、その解消に努める。認知数の多い学校は、それだけ教職員の目が行き届いている証であり、少ない学校は見逃してはいないか懸念する。認知したいじめについては、県教委、市町村教委、学校と連携していじめ防止対策推進法に基づき対応していく。いじめの重大事態により第三者委員会設置が必要な場合は、県教委の事例を参考にしたい。」ということでした。

2点目は、「確かな学力の定着は児童生徒の自己実現に繋がることから、全国学力調査において全教科全国平均を上回ることを目標に、学力向上の施策を展開している。具体的には、教員の指導力向上に向けた授業づくりの助言や思考力、判断力、表現力を含む練習問題を提供して教員の養成に努めている。また、市町村教育委員会や学校を訪問して、学力調査の分析を通して各学校の課題を明確にして、授業改善や練習問題の実施に取り組んでいる。昨年度はコロナ感染予防で実施されなかったが、一昨年4月に実施された全国学力調査において、平均正答率は小学校では国語が目標とする国の平均を上回って、向上の兆しが見えた。中学校では全ての教科が全国平均を下回り、依然として厳しい状況である。今年度は2年振りに実施されて、まもなく結果が明らかになるが、

市町村教育委員会ではそれぞれをしっかりと分析して、地域の児童生徒の学力向上が図られるようお願いいたします。」ということでした。

3点目は、「教職員の不祥事の根絶について、平成24年に多くの事案が発生したことから、不祥事根絶委員会を設置し、様々な対策をしてきて不祥事は減少してきたが、昨年度は増加に転じ、誠に残念である。教育は将来の社会を担う人材の育成という重要なテーマであり、教育に携わる教職員の不祥事は、児童、生徒、保護者、県民全体の教育に対する信頼を著しく損なうものである。教育に携わる者は、使命感、職責感を図れる指導を積極的に推進していく。以上教育を取り巻く課題は山積しているが、今後とも、県教委、市町村教委と連携して教育の振興と充実に努めていく。」と話されました。

その後、各課長より4点、教育委員会制度、学校における業務改善の推進、教育の情報化の推進、特別支援教育の推進について説明がありました。

8月24日の令和3年度日置市教育研究会講演会をオンラインで視聴しました。自分の環境設定不備のため、後半のみ視聴できました。大学教授の講演というのは初めてで、非常に刺激になりました。その中で、学校教育におけるユニバーサルデザインの授業づくりということについて、7つの原則の視点に立ち、児童生徒に解りやすい説明を工夫するということをお話され、例えば、時間の可視化、文字が映えるチョーク、オリンピックピクトグラム、教室の席配置で見えづらさ・動きづらさの解消、手洗い場の低床化等を挙げられました。また、信頼関係を作るということで、問題が生じたとき「あなたを責めない」という明確なメッセージを送ることで、信頼感や良い印象を醸し出すということです。最後に、特別支援教育における保護者への対応として、連携への一歩は、「先生が、「わかってくれるという安心感」を持たせることで、保護者の来た時の不安が、帰るときは心が楽になる。」と話されました。先生方の日ごろ授業をする中での疑問や思いについて、先生のお話を聞いて、理解に繋がったことと思います。私からは以上でございます。

奥教育長：はい。ありがとうございました。それでは私の方から大きく3点報告をさせていただきます。

7月27日に子ども議会を開催いたしました。広報紙のコピーをお配りしてあると思いますが、既にご覧になられたかと思えます。各学校から子ども議員が22名参加しまして、議場で子ども達の役割分担で議長・副議長を立て、8名の子どもたちが代表で提言を行いました。それに対しまして、市長をはじめ当局関係の部課長方が答弁をするという実際の議会さながらの展開になりましたが、子どもたちからすばらしい提案がございました。「子ども宣言」も採択をして、現在周知を図っているところです。先ほど中島委員から子どもサミットの話もございましたが、そういったアイデアも生かしながら、今後発展していけたらいいなと思えます。

2点目は、今年の夏は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言、大雨警報が続きまして、いろいろな活動ができなかった訳ですが、日置市も教育委員会関係で言いますと、社会教育施設・社会体育施設等を閉鎖するなど、夏休みから厳しい対応を取ってききましたが、少しずつ今は緩めてきておりまして、9月13日から社会教育施設・社会体育施設の予約済のものを中心に開放しました。また、部活動は9月1日から、スポーツ少年団が9月13日から活動再開となっております。まだ、全開ではありませんが、一日も早く日常の活動ができるようになればいいなと思えます。それから先ほどリモート教育講演会の話がありましたが、校長研修会もこの夏から3回ほどオンラインで、また9月の予定もございますが、開催をしております。先ほどなかなかオンライン接続ができなかったという報告もありましたが、校長先生方も例外ではなく、なかなか接続できませんでした。これは設備上のことだと思いますが、だんだん慣れてきた感じがいたします。このようなネットワークなども活用しながらいろいろな事態に対応できるようになっていけばと思えます。

それから3点目は、まだ開会中ではありますが、9月議会において教育委員会関係の一般質問が6人の議員の方から出ております。内容は、部活動の関係や職場体験学習、あるいは学校への生理用品の配布の問題、エアコンの問題などで、資料をお配りしてありますので、ご覧頂きたいと思えます。

今日から秋の全国交通安全運動が始まりまして、例年のことですが、いろいろな団体の方々が街頭に立って活動してございま

す。市職員も分担して、今日から全職員が10日間街頭に立って指導するというご協力を頂いております。皆様方も見守って頂けるとありがたいと思います。昨日も水の事故等もありましたので、そういう事故防止についても改めて注意喚起をしたところ
です。以上です。

4 議事

【報告第19号 日置市一般会計補正予算（第6号）の市長への意見具申について】

奥教育長：それでは議事に移ります。報告が2つありますので、まず報告第19号、令和3年度日置市一般会計補正予算（第6号）の市長への意見具申についてです。事務局から説明をお願いします。梅北局長。

梅北局長：それでは、資料は1ページになります。報告第19号、令和3年度日置市一般会計補正予算（第6号）の市長への意見具申についてです。

令和3年度日置市一般会計補正予算（第6号）について意見を求められ、別紙のとおり回答し臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものです。

資料の5ページをお開きください。歳出の方です。11款災害復旧費です。補正前の予算はありませんでしたが、751万4千円増額しまして、補正後の予算額を751万4千円とするものです。歳出の内容につきましては、10ページをお開きください。10ページの下の方ですが、11款4項1目 学校災害復旧費 10節需用費、施設維持修繕料は、8月中旬の大雨により土橋小、伊集院北小、妙円寺小の3小学校の災害復旧に伴う増額補正となります。内容については記載がありますが、土橋小学校が流末排水修繕、フェンス部修繕、伊集院北小が擁壁陥没修繕、妙円寺小につきましては1枚紙の写真付きの資料があると思いますが、横長の写真になります。左上が位置図になります。妙円寺小学校の北西、丸で囲んだ所ですが、8月中旬の大雨による法面崩土の被害状況が①と書いてありますが、斜めから撮った写真です。②が道路を久保石油側に撮った写真です。左から道路に向けて土砂が崩れている状況です。

左下の写真がドローンによる空撮で撮った写真で、妙円寺小の分で330万5千5百円という金額となっております。また、伊集院北中学校のフェンス部修繕・流末排水修繕・排水路土砂除去、土橋中学校の排水路陥没修繕・プール土砂流出部修繕となっております。12節委託料につきましては、妙円寺小学校の災害復旧に伴う測量設計の業務委託で200万円計上しています。

続きまして11ページですが、11款4項2目、下から2段目です。体育施設災害復旧費 10節需用費 施設維持修繕料につきましては、もう1つの「令和3年8月大雨による災害検討及び必要予算額」の資料になります。この中で、東市来分が1件で5万円となっておりますが、50万円に訂正をお願いします。合計が150万円となります。この100万円の予算につきましては、2ページをお開きください。日吉総合運動公園の南側の法面の排水路と法面の復旧ということで100万円の予算を計上しております。

続きまして3目 社会教育施設災害復旧費 10節需用費 施設維持修繕料ですが、これにつきましては同じ資料の3ページになります。場所は東市来支所、鶴丸小、上の秋光園という福祉施設がありますが、その秋光園からの排水路に令和2年度の大雨によりシラスが流れ込んだということで予算の中でご説明をしましたが、その排水路に大型土のうを積んでいましたが、4ページを見て頂いて、右側の黒く見える物が大型土のうになります。大型土のうの上面まで今度の雨でシラスが流出しています。これらの土のうに溜まったシラスの除去、大型土のうの積み直しということで、50万円の予算を計上しております。

歳出は以上ですが、歳入につきましては基金繰入金で処理ということになります。以上で説明を終わります。御審議よろしくお願いいたします。

奥教育長：はい。報告第19号について説明をいたしました。災害復旧関係ですが、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(特になし)

では報告第19号は、承認と致します。

【報告 第19号 承認】

【報告第20号 日置市一般会計補正予算（第7号）の市長への意見具申について】

奥教育長：続きまして、報告第20号、令和3年度一般会計補正予算（第7号）の市長への意見具申について、説明をお願いします。梅北局長。

梅北局長：はい。資料は12ページです。報告第20号、令和3年度日置市一般会計補正予算第7号の市長への意見具申についてです。

令和3年度日置市一般会計補正予算（第7号）について、意見を求められ、別紙のとおり回答し臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものです。

資料の17ページをお開きください。10款教育費です。補正前の総額21億8,428万7千円を1,625万千円増額しまして、補正後の予算額を22億53万8千円とするものです。増額の主な要因は、学校管理費の小学校分で、35人学級に伴い多目的教室を普通教室への改修、日吉学園掲揚台改修、地方創生臨時交付金を活用した空調機器の備品購入、学校管理費の中学校分では、伊集院北中学校更衣室解体に伴う工事請負費、地方創生臨時交付金を活用した空調機器の備品購入が大きな要因となっています。

社会教育課関係では、10款5項の文化財費で民俗芸能伝承活動支援交付金の減額、10款6項保健体育費でオリンピック聖火リレーのトーチ等を展示するケースの作成委託料、落雷による小鶴ドーム正面入口自動ドア等の設備修繕が主なものとなります。

詳細な内容につきましては、担当課から説明をさせていただきます。まず、教育総務課関係の9月補正予算についてご説明を申し上げます。なお、人件費等におきましては説明を省略させていただき、また、主要な補正について説明させていただきます。

歳出の説明をいたします。資料は30ページになります。10款1項1目教育委員会費 08節旅費 16万7千円、18節負担金3万円の減額は、新型コロナウイルス感染症による会議及び研修会の中止に伴う減額となります。10款1項2目事務局費、01節報酬34万4千円の減額は、事務補助員の交代に伴う減額となります。31ページになります。08節旅費31万9千円の減額の内訳は、学校教育課指導主事赴任旅費の確定に伴う28万9千円の減額、また会計年度任用職員の交代に伴う3万円の減額となります。

資料は31ページからです。10款2項1目 学校管理費の小学校分です。32ページ上から2段目、10節需用費 細節施設維持修繕料93万9千円は、3件の緊急対応に伴う増額補正となります。内容は記載のとおりです。14節工事請負費329万1千円の内訳は、伊集院小学校の来年度の普通教室不足に伴い多目的教室を普通教室とするための改修、日吉学園掲揚台改修工事による増額補正となります。なお、日吉学園掲揚台改修工事は、開校に伴うまちづくり応援基金171万円の繰り入れになります。17節備品購入費470万9千円の内訳は、1件100万円以上のもので地方創生臨時交付金を活用した飯牟礼小学校職員室等空調購入の執行残の減額と湯田小学校保健室空調機器購入の差額126万1千円の増額、1件100万円未満のものについても地方創生臨時交付金を活用した4小学校の5箇所への空調機器購入に伴う344万8千円の増額となります。資料は33ページです。10款3項1目学校管理費の中学校分になります。10節需用費 施設維持修繕料115万1千円は、記載にあります7件の緊急対応に伴う補正となります。14節工事請負費165万9千円は、伊集院北中学校屋内運動場南側にあります更衣室の解体工事に伴うものです。17節備品購入費1,007万8千円の内訳は、1件100万円以上のもので地方創生臨時交付金を活用した2つの中学校の4部屋への空調機器の購入507万3千円の増額、1件100万円未満のものについても地方創生臨時交付金を活用した3中学校1義務教育学校の8部屋の空調機器の購入500万5千円に伴うものです。

続きまして歳入についてご説明いたします。資料は20ページです。19款1項6目まちづくり応援基金繰入金ですが、先ほど申しました日吉学園の掲揚台改修に伴う基金繰入金です。21ページです。21款4項4目雑入 02節雇用保険料1,000円の減額は、事務補助員の交代に伴うものとなります。教育総務関係につきましては、以上で説明を終わります。

奥教育長：はい。続きまして社会教育課お願いします。

横枕課長：はい。では34ページをお開きください。中段になります。10款5項2目公民館費です。10節需用費 細節施設維持修繕料6万3千円は、吹上中央公民館消防用設備（誘導灯）修繕に伴う増額補正です。次に12節委託料 細節その他委託料17万6千円は東市来中

中央公民館非常用発電機模擬負荷試験業務委託に伴う増額補正です。5目文化財費です。10節需用費 細目施設維持修繕料4万1千円は、吹上歴史民俗資料館消防用設備（誘導灯）修繕に伴う増額補正です。次に35ページです。18節負担金、補助及び交付金 細目補助金及び交付金533万2千円の減額は、民俗芸能等伝承活動支援事業が新型コロナウイルス感染症拡大による団体の活動中止に伴う減額補正です。次に35ページの下から11行目です。6項1目保健体育総務費です。11節役務費 細目手数料10万円の減額は、オリンピック聖火リレー時にゴール前伊集院小学校の路上電線移設を予定しておりましたが、令和2年度に教育総務課発注の別工事で実施されたため、不要となったことに伴う減額補正です。次に12節委託料 細目その他委託料33万円は、オリンピック聖火リレーに参加された方から寄贈されたトーチ・ユニフォームを展示するケース制作業務委託に伴う増額補正です。これについては、両面印刷の資料を御覧ください。広報ひおきの6月号にも掲載されましたが、寄贈された方は川崎廣明さんで伊集院在住の方です。トーチとユニフォームを寄贈して頂きました。現在、トーチを市内の希望のありました学校11校で巡回展示を行っております。最終的には、展示ケースを作成して本庁、支所の庁舎で巡回展示をした後、中央公民館で展示、保管をします。次は36ページの上から3行目になります。15節原材料費 細目物件費的なもの2万円の減額は、オリンピック聖火リレー沿道の看板補強等材料として予算化していましたが、県の委託会社が看板及び補強まで実施されたことにより不要となったことに伴う減額補正です。2目体育施設費です。10節需用費 細目施設維持修繕料90万6千円は、伊集院総合運動公園内小鶴ドームの正面入り口自動ドアが落雷により故障したことに伴う修繕55万8千円と日吉総合体育館の非常用動力電源用の蓄電池が約12年間使用したことによる経年劣化で使用不能となったことに伴う修繕34万8千円の合計90万6千円を増額補正するものです。

最後に歳入になります。29ページです。19款第1項7目地域づくり推進基金繰入金 1節地域づくり推進基金繰入金533万2千円の減額は先ほど歳出で説明しました民俗芸能等伝承支援事業が新型コロナウイルス感染症拡大による団体の活動中止に伴い減額

補正し、地域づくり推進基金へ戻し入れするものでございます。
以上で説明を終わります。御審議よろしく申し上げます。

奥教育長：はい。ありがとうございました。2つの課から説明をいたしました
が、委員の皆様方からご質問等ございましたらお受けいたします。
はい、内村委員。

内村委員：2点ほど教えてください。まず32ページの伊集院小学校多目的教
室改修工事、日吉学園掲揚台改修工事の工期等についてはどのよ
うな感じでしょうか。もう一点は33ページの工事請負費の中学校
維持補修費の補正前の東市来中学校高圧ケーブル、高圧気中開閉
器取替工事外2,700万円ほどですが、これは九電の管轄だと思われ
ますが、敷地内であれば日置市でこういった工事をしなければな
らないのか、先ほどもありましたが、高圧ケーブルの開閉器など
の耐用年数はどれぐらいなのか、2点教えてください。

奥教育長：はい。今、2点質問がありましたので、まず伊集院小と日吉学園
の工期からです。梅北事務局長。

梅北局長：はい。工期については、はっきりした工期はわかりませんが、多
目的教室を改修して来年度から使用するということですので、今
年度中には終わるということで予算を計上しております。日吉学
園の掲揚台改修ですが、こちらにつきましても予算が10月8日に
最終本会議となりますので、その後、学校の行事関係を調整しな
がらの工事になるかと思えます。なるべく早い改修はしたいと考
えております。

また、33ページの学校管理費の工事請負費の高圧ケーブル・高
圧気中開閉器取替工事ですが、これにつきましては、この工事の
みではなく、他の工事が数件ございます。詳細については、今、御
説明できませんが、この高圧ケーブルを設置してから一回も取替
などなかったというような説明を受けたと記憶しております。

内村委員：東市来中は太陽光パネルがあるのですか？その関係でこの高圧な
どをしているのですか？

梅北局長：高圧は、空調を設置しましたので、通常の引き込みだけではなく、
キュービクルを設置していますので、その改修になります。

内村委員：分かりました。

奥教育長：ということで、よろしく申し上げます。他にございますか。

鵜木委員：2つ教えて頂いていいですか。32ページの日吉学園掲揚台改修工

事ですが、当然改修なので、今ある掲揚台を新しくするという形になりますよね。どのような内容になりますか。

梅北局長：はい。現在の掲揚台が、コンクリートの土台に鉄の掲揚支柱があり、だいぶ錆びている状態で、また、一本は斜めに傾いていることから、錆びを落として塗装をしても再度錆びてきますので、アルミ合金で新たに作ることにになります。

鵜木委員：改修工事とありますが、新しい物を作るということですね。もう一つ、33ページの10款3項1目10節の需用費、一番上です。吹上中学校武道館の床の修繕に7万1千円使われていますが、どのような修繕をされたのですか。

松岡課長：はい。武道館のフローリングの板がささくれており、剣道部が裸足で活動しますので、全部を修繕することはできませんが、ささくれた部分の補修をするということです。

鵜木委員：剣道場ではなくて部室ですか。

松岡課長：剣道場です。普段、剣道部が毎日部活動で使用しますし、学校施設としての武道館となっております。

鵜木委員：金額的に7万1千円というのはどのような修繕かなと思ったものですから。

奥教育長：傷んだ所のみ改修ということですか。

鵜木委員：分かりました。

奥教育長：よろしいでしょうか。他にございますか。

(特になし)

それではただ今の報告第20号についても、承認としてよろしいですか。

(異議なし)

はい。承認と致します。

【報告 第20号 承認】

5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長


- ア 東市来支所教育振興課長
- イ 日吉支所教育振興課長
- ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長：以上をもちまして、令和3年9月の教育委員会定例会を終了いたします。お疲れ様でした。

終了

署名委員 内村友治 

署名委員 中野辰矢 

